



土屋 武雄 議員

質問

# 小さな拠点づくりの推進の趣旨は

町長

## 4つの視点からの生活サービス機能の確保だ

**質問** 使用しなくなった教育施設の有効活用を進めねばならない。再利用検討委員会は、その後どうか状況を問う。

**町長** 高田小学校の跡地利用については、平成27年7月の第1回目以降有効活用策を検討

**質問** 小さな拠点づくりの推進は、同趣旨の取り組みが、従来からあるように思うが何が違うのか。

**町長** 4つの視点があり、①集落生活圏の将来像の合意形成②持続的な取り組み体制の確立と地域運営組織の形成③生活サービスの維持確保④地域の収入の確保のためのコミュニティビジネスの実施など、その地域にあった生活サービス機能や、交通ネットワークの確保などの仕組みづくりを自治会の枠を超え、より広域的に推進することが目的である。

**質問** 委員会が協議してきたが、思うように進んでいない実情であり、平成29年度からは、財産管理室の所管において進める。

**町長** 平日と祭日、昼夜の区別は、総務課長 平日の開庁時は、各庁舎の職員に

委員会が協議してきたが、思うように進んでいない実情であり、平成29年度からは、財産管理室の所管において進める。

**質問** 町内情報端末機での告知放送中の緊急放送、火災その他の災害発生時の通報の取り組みについて基本方針は、

**総務課長** 方針は、奥出雲町ケーブルテレビ施設の設定及び管理に関する条例で定めている。

**質問** 情報受応えのルートは、

**総務課長** 情報伝達の手順は、火災時の例で、雲南消防署から電子メール、ファクス、電話機で受信し、町消防担当者で町内放送を行う。

**質問** 平日と祭日、昼夜の区別は、

**総務課長** 平日の開庁時は、各庁舎の職員に

危機管理の緊急放送について

**質問** 担当への訓練は、

**総務課長** 指導研修は、警備員室に設置してある手順書を基に操作方法を確認し加えて火災予防週間、模擬火災訓練時に火災想定の際緊急放送を実施する等操作の習熟に努めている。

**質問** 不的確伝達の場合について問う。

**総務課長** 不的確な伝達となった場合は、直ちに正確な伝達を優先し、必要に応じて訂正の放送を行う。

**質問** 本年9月開催の第11回全国和牛能力共進会に県代表として出品が第5区で決定しており、他区も有望牛がいる。秋の取り入れ農繁期と重なり、応援体制の弱体化が心配され

より情報を受信し放送、夜間や休日は各庁舎の警備員がそれぞれ対応する。

**質問** 担当への訓練は、

**総務課長** 指導研修は、警備員室に設置してある手順書を基に操作方法を確認し加えて火災予防週間、模擬火災訓練時に火災想定の際緊急放送を実施する等操作の習熟に努めている。

**質問** 不的確伝達の場合について問う。

**総務課長** 不的確な伝達となった場合は、直ちに正確な伝達を優先し、必要に応じて訂正の放送を行う。

畜産振興について



全共最終選抜会へ奥出雲町社行式（仁多中央家畜集会所）

るので、支援策を問う。

**町長** 9月9日から2泊3日の応援の取りまとめを和牛改良組合が行う。高額な旅費になるので、改良組合、町出品対策協議会において、旅費の助成を現在検討しており、本会議に上程している。補正予算において、町出品対策協議会補助金を予算計上している。

**質問** 団体等の研修視察等集中化は、

**町長** 町議会や農業委員会が実施する視察研修に対して、全共への応援を検討していたたくようお願いしている。

**質問** 関心ある高校生への参加要請は、

**町長** 横田高校は難しいとのことだ。

**質問** 旅行社との団体割引交渉の実現を問う。

**町長** 団体割引交渉中である。